

岐阜市のNPO法人 ペットの飼い主への『減災力』呼びかけ

獣医師・ペットホテル経営者・防災士・防災のコンサルタントらが集結

# 減災力テスト＜ペット編＞を開発！

7月29日お披露目セミナー開催



Q 設問		OΔX	いつやるか	Q 設問		OΔX	いつやるか
地震時の安全と安否	Q1 地震でゆれても、自分の家はこわれませんか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q11 適切な糞尿の処理、鳴き声による騒音対策、放し飼いをしないなど、飼い主マナー向上に努めていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q2 倒れそうな家具や棚のそばなど、地震の時に危険な場所で場所をペットを寝かさないようにしていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q12 一定時間、排泄を我慢させ、適切な場所で排泄させる事ができますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q3 地震時の通路となる場所について、窓ガラス等の飛散防止対策をしていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q13 普段出かけない場所や、知らない人や犬がいる場所でも、怖がったり攻撃的にならずに、落ち着いて過ごせますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q4 飼い主か、代わりに対応できる人が、いつも家にいますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q14 【犬以外は、「O」と回答ください】愛犬は、「待て」、「おいで」、状態をやめさせる事ができるなど、飼い主の指示に従いますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q5 鑑札・迷子札・マイクロチップなどの所有者明示をしていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q15 飼い主以外の人でも、首輪やリードの付け外し、エサやりや抱っこができますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q6 迷子になった時に示せるような、ペットの特徴が認識できる写真を持っていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q16 ノミ、ダニの予防や、狂犬病予防接種、混合ワクチンな接種などの感染症予防を実施していますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
被災時の生活場所	Q7 被災時にペットと共に在宅避難できる、耐震性のある部屋やガレージがありますか、あるいは、ペットだけならスペースを用意できますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q17 シャンプーやブラッシングで清潔にしていますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q8 被災時にペットを預かってくれる人や組織はありますか？また、相談していますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q18 犬や猫の頭(匹)数分のキャリーケースやクレートを保有しており、その中で落ち着いて休ませることができますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q9 車中泊やテント生活など、避難所以外の生活を想定した、ペットを連れての防災キャンプをしたことがありますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q19 一週間分の食事や水分の量を把握して、普段から常備しているものでまかなうことができますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	
	Q10 居住地の避難所について、ペットの受け入れの可否を知っていますか？ 【利用しない人は、「O」と回答ください】		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	Q20 一週間分のトイレシートや薬、猫砂、消毒スプレーなどを、普段から常備しているものでまかなうことができますか？		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年	

印刷・複写してご利用ください。無断改竄はご遠慮ください。 ※本事業は、岐阜市市民活動支援事業補助対象事業です。 ©2018 特定非営利活動法人人と動物の共生センター

## 『減災力テストペット編』A3・1枚で飼い主の自助力高める

平成30年7月西日本豪雨では、多くの犠牲者を出し、今もなお、避難生活を余儀なくされている大勢の被災者の方々がいらっしゃいます。その中では、ペットを連れてくるから屋内に入ることができなかった方もいらっしゃるとの報告も散見されます。

飼い主は、ペットを連れてくるからこそ、いざという災害時に備えて、減災力を高めていく必要があります。人と動物の共生センターでは、飼い主の自助力を高めるために、減災力テストペット編を開発し、7月29日（日）に、開発に協力いただいた防災の専門家をお招きし、お披露目セミナーを開催します。是非ご取材いただけますようお願いいたします。

## 1. 企画背景

大規模災害発生時、ペットに関連したトラブルは、避難生活を送る上で課題になります。避難所のルールとして、ペット不可と決められていても、連れてきてしまう飼い主がいたり、ペット可の場合であっても、マナーのない飼育によって周囲が迷惑することもあります。岐阜市の全自治会連合会を対象に実施した調査〔n=41, 回答率82%,2016年〕※1では、避難所運営でのペットの処遇を決めている地区は約5%にとどまっており、羽島市某地区の飼い主を対象とした調査〔n=403,回答率72%,2016年〕※2では、飼い主の53%が避難所に連れていく、31%がわからないと回答しています。

飼い主は、特有の課題に備えて、日ごろからマナーを向上したり、備えを進める必要があります。一方、それを実現するためには、防災に携わる方や自治会等の自主防災組織が、ペットに関する防災の現状や特徴を把握すると同時に、効果的に飼い主に啓発していくことが必要です。

今回のセミナーでは、ペットに関する防災の現状について学ぶと同時に、地域での防災啓発や、学校での防災教育などで活用されている「減災力テスト」の<ペット編>を用いて、飼い主の自助を促すための方策を考えます。

## 2. セミナー概要

**【ペットの防災・地域の防災に関心のある方向けの公開講座】**

# 減災教室

## ペット編



飼い主の自助を促すために

「減災力テスト～ペット編～」を開発しましたのでお披露目します

名 称：減災教室ペット編

日 時：7月29日 19:00～20:30

場 所：みんなの森メディアコスモス かんがえるスタジオ

岐阜県岐阜市司町40番地5

定 員：100名（事前登録制）

参加費：無料

主 催：特定非営利活動法人人と動物の共生センター

後 援：清流の国ぎふ防災・減災センター

協 力：一般社団法人 Do It Yourself

### 3. 登壇者一覧

#### **研修講師 渡辺 英毅 氏**

防災士／清流の国ぎふ 防災・減災センター げんさい未来塾 1 期  
ペットホテル「セカンドハウス」代表取締役  
NPO 法人人と動物の共生センター ペット防災委員長

#### **ファシリテーター 高木 朗義 教授**

岐阜大学工学部社会基盤工学科教授  
岐阜大学地域減災研究センター副センター長  
清流の国ぎふ防災・減災センター減災社会推進部門長

### 4. 減災力テストとは

減災力テストとは、今回のセミナーのファシリテーターである高木朗義教授と一般社団法人DoltYourselfの東喜朗氏によって開発された、一人一人の減災力を高めるためのテストです。そのコンセプトは、「わかる」から「できる」へです。防災に対する取り組みは、その必要性について認知されていても、実際の行動が伴わないことが課題であると言われていています。減災力テストでは、小学生でもわかる20の設問に答えていくことで、現在の防災に関する自分自身の実施状況を把握することができ、備えを行動に移すことに役立ちます。これまでに、自主防災組織や、教育機関などで活用されてきており、iOSやAndroidのアプリとしてもリリースされています。

#### **【お問い合わせ先】**

NPO法人人と動物の共生センター（ONE Life～犬のしつけ教室&雑貨屋～内）

担当：奥田 Tell：058-214-3442 当日連絡先：080-5120-9097

Mail：[info@tomo-iki.jp](mailto:info@tomo-iki.jp) Web：<http://human-animal.jp>

〒500-8225 岐阜市岩地 2-4-3 受付：水-日 9:00～18:00